

JOCジュニアオリンピックカップ  
第41回全日本ジュニアバドミントン選手権大会山形県予選大会

<新型コロナウイルス感染症の感染防止に係る留意事項>

1. 本予選会における感染防止対策は、「新型コロナウイルス感染症対策に伴うバドミントン活動ガイドライン（3章バドミントン競技大会・イベント実施にあたって）」（令和2年6月12日 第2版 令和3年2月8日付付公益財団法人 日本バドミントン協会）及びこの本資料に基づき実施する。本大会会場に入場できるのは、選手、監督、コーチ、引率責任者、大会役員、保護者（選手と同居家族1名）、報道関係者等（以下、大会関係者）とし、本資料内容を事前に確認すること。
2. 大会関係者及び観戦者の体調の確認等については、次のとおりとする。

大会7日前から大会当日まで、健康管理を徹底するとともに体温及び健康状態（下記(1)～(8)）を毎日チェックし、「健康チェックシート」（県バドミントン協会HPよりダウンロード）に必要事項を記入（所属校（クラブ含む）の監督、コーチ、代表者等の責任者若しくは選手保護者が、毎日確認すること）の上、大会当日受付に提出すること。

  - (1) 体温（37.0以上の発熱の有無）
  - (2) 咳、喉の痛みなどの風邪の症状
  - (3) だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）
  - (4) 体が重く感じる、疲れやすい等
  - (5) 味覚や嗅覚の異常
  - (6) 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触
  - (7) 同居家族や身近な知人で感染が疑われる方
  - (8) 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされる国、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触
3. 大会関係者が感染疑いの症状等がある場合の対応は下記のとおりとする。
  - (1) 大会関係者が大会開催1週間前から大会参加までに、感染疑い者（健康チェックシートの記載項目（上記2の(1)～(8)）に該当）がありPCR検査もしくは抗原検査で「陰性」であった者、又は医療機関を受診しなかった者が発生した場合の対応

大会開催日の1週間前の時点もしくはそれ以降に感染疑いの症状が発生していた場合、原則当該者は参加を辞退すること。また、所属先は派遣を取り消すこと。ただし、次の両方の条件を満たしている場合、大会出場を認める。

    - a 感染疑いの症状が発生した後、少なくとも8日が経過している（発症日を0日として8日間）。
    - b 薬剤を服用していない状態で、解熱後及び症状消失後、少なくとも3日が経過している（3日が経過している：解熱日・症状消失日を0日として3日間）。
  - (2) 大会関係者が大会開催中に感染疑いの症状（健康チェックシートの記載項目（上記2の(1)～(8)）に該当）がある者が発生した場合の対応
    - a 感染疑いの症状がある選手、監督、コーチ、引率責任者、保護者等は、参加できない。
    - b 感染疑いの症状がある大会役員、報道関係者等は参加できない。
    - c 上記に該当する者（軽症者含む）は、各所属の責任において原則速やかに帰宅させる。
4. 受付は、次のとおりとします。
  - (1) 受付は、ジュニア男女の部は1階入口付近、ジュニア新人男子の部は2階フロア、ジュニア新人女子は武道館とする。
  - (2) 受付の際、当日参加する大会関係者は、「健康チェックシート」に必要事項を記入の上、受付時に提出すること。検温、消毒の後、IDを配布する。（選手、監督、コーチの分は各校で事前に準備ください。保護者分については、受付でリストバンドを配布します。）なお、所属校（クラブ含む）の監督、コーチ等の責任者が、記載内容、当日の体温を確認し、人数分の「健康チェックシート」をまとめて提出すること。
5. 監督会議は行わない。大会関係者は、「監督・代表者会議資料」（本資料）を各自ダウンロード、印刷の上、記載内容の確認と、大会当日の徹底をお願いする。本資料の印刷物は、配布しない。なお、事前の棄権又は監督・コーチに変更のある場合は、競技開始前に本部まで申し出ること。
6. 朝の競技開始前（開場から競技開始前）の練習は行わない。各種目の初回戦前に3分間の練習を行う。複は、パートナー同士、単は対戦相手とする。練習シャトルは、持ち寄りとする。

7. 試合で敗退し敗者審判等を終わったら、試合を観戦や応援をせずに、速やかに観客席、会場から退出してください。(概ね 30 分以内) ただし、同じ学校(クラブ等)の選手が同一の行程で移動する必要など特別の事情がある場合は、所属校の監督、コーチの責任の下、他の選手等と十分間隔をとるなど感染防止対策の徹底を図った上で、観客席にいることができるものとする。
8. 総合体育館アリーナ、武道館入場、退場の経路は、図のとおりとする。  
観客席の割当てについては、図のとおりとする。(補助役員も同様) 指定された場所で、隣の人と 1 m 程度の間隔をとりマスク着用とすること。また、大きな声での会話や応援を禁止する。
9. 競技を行っていない時はマスク着用(不織布マスク)とする。また、手洗い、アルコール等による手指消毒の徹底、ほかの参加者、大会役員等との距離の確保(できるだけ 2 m 以上を目安、最低 1 m 以上)をお願いする。
10. 機械換気及び一部のドア、窓の解放による常時換気を行う。また、レフェリーの判断により、一定の時間、全てのドア、窓を開放する全館換気を行う場合もある。
11. ゴミは、すべて持ち帰ること。
12. 飲食の際は、周囲の人となるべく距離をとって、対面を避け、極力会話はしないこと。特に、食事の際は、食前、食後の消毒、黙食を徹底し、可能な場合は屋外で食べるなど配慮すること。
13. 武道館の入場と待機場所は、土足禁止及びシューズの使用ができません。ソックスか素足で対応すること。
14. 武道館大武道場と剣道場(待機場所)の境界部分にシューズ履き替え場所を設置するので、試合会場への入退場時に注意すること。
15. 受付開始時刻を午前 8 時とする。事前に分けた地区名簿により受付・参加料の納入、健康チェックシート提出、検温、消毒等を行う。
16. 観客席からの写真・動画撮影については可とするが、動画投稿サイト等への公開(不特定多数が閲覧できるもの)は禁止する。参加者において、自校の生徒の試合のみ撮影可能とし、ID 発行された顧問等が責任を持って実施できる場合のみ認める。

(受付・健康チェックシート提出・検温・消毒)

1. ジュニア男女及び保護者は総合体育館 1 階・ジュニア新人男子及び保護者は総合体育館 2 階とする。
2. ジュニア新人女子及び保護者は、武道館内(選手は 1 階剣道場内、保護者は 2 階フロア)とする。
3. 学校毎に参加する選手の「健康チェックシート」は、各校代表者がまとめて提出する。個人参加選手の「健康チェックシート」は、引率者が提出する。

(競技)

1. ジュニア男女及び・ジュニア新人男子は、総合体育館(11 コート)で実施する。
2. ジュニア新人女子は、大武道場(6 面)で実施する。
3. 競技会場の出入口を指定し、総合体育館南側を入口専用、北側を出口専用的一方通行とする。
4. 競技会場入口に消毒コーナーを設置して、入場者はその都度消毒を行う。

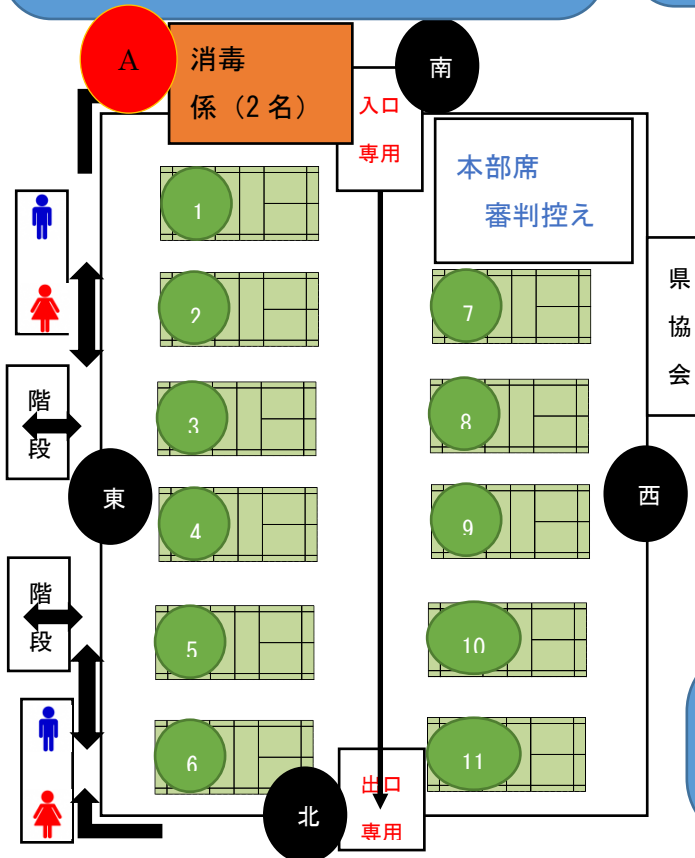
(座席割当)

1. 総合体育館 4 階の東側・北側を選手専用とし、各地区(ジュニア・ジュニア新人合同)割り当てる。
2. 武道館内剣道場に選手専用として、各地区(ジュニア新人女子のみ)割り当てる。
3. 総合体育館 4 階の南側・西側を保護者専用(地区フリー)とし、割り当てる。
4. 武道館内 2 階観客席を保護者専用(地区フリー)とし、割り当てる。
5. 保護者には、試合ごと移動しての応援並びに声を出しての応援は禁止する。
6. 総合体育館 4 階での選手と保護者の導線を分けて、接触を避ける。
7. 武道館内での選手(1 階)と保護者(2 階)の導線を分けて、接触を避ける。

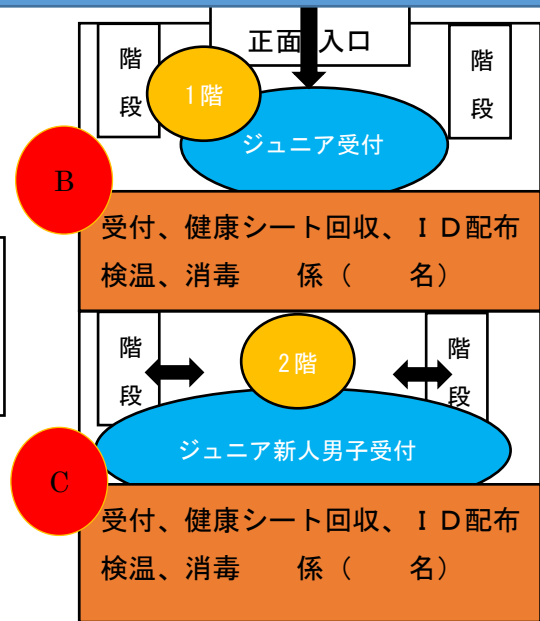
(武道館)

1. 剣道場と大武道場の境に本部席を設置し、その左右に入口専用箇所と出口専用箇所を設け、その場所で、シューズの着脱を行う。

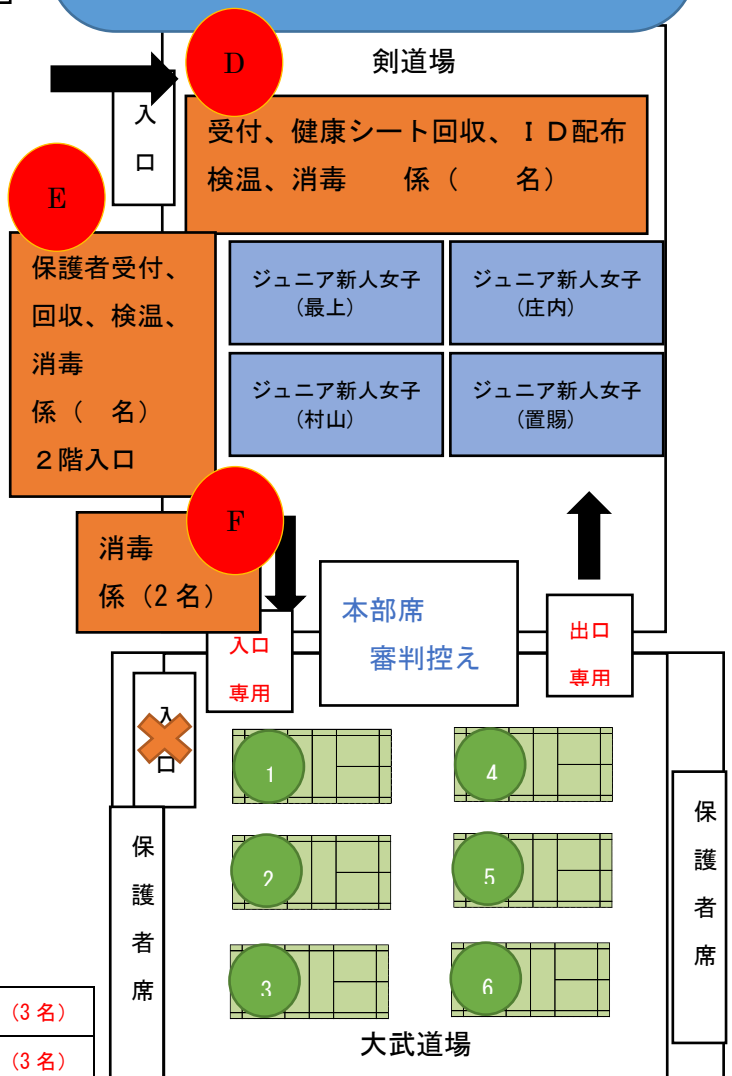
総合体育館 3階アリーナ  
(ジュニア新人・ジュニア男子会場)



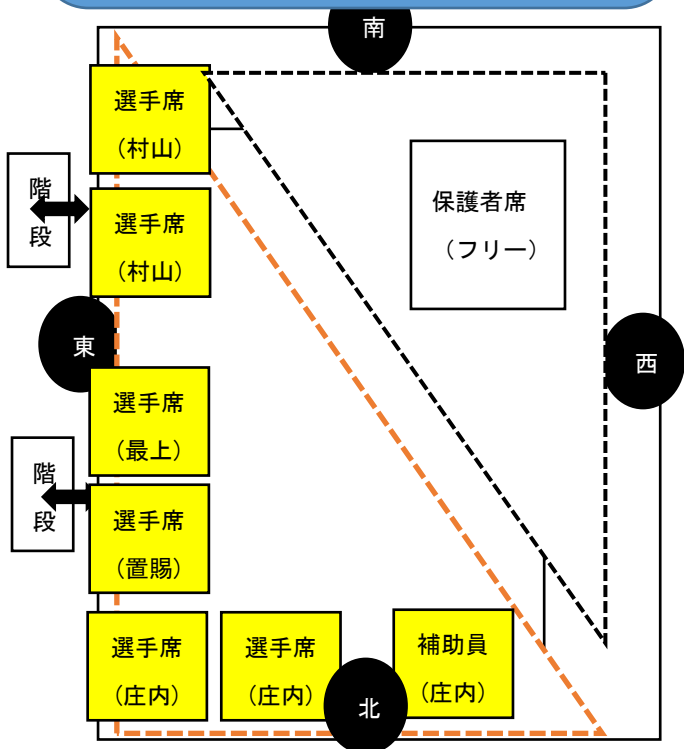
総合体育館 1階 (ジュニア男女受付・同保護者受付)  
総合体育館 2階 (ジュニア新人男子・同保護者受付)



武道館 (ジュニア新人女子受付・同保護者  
受付・競技会場)  
ジュニア新人女子座席割当



総合体育館 4階座席割当  
(ジュニア男女・ジュニア新人男子会場)



A ; 消毒 (2名)	D ; 回収、ID配布、検温 (3名)
B ; 回収、ID配布、検温 (6名)	E ; 回収、ID配布、検温 (3名)
C ; 回収、ID配布、検温 (3名)	F ; 消毒 (2名)